

県農林技術開発センター

長崎県のカーネーションは栽培面積21畝、生産額は12億円、本県花きの主要な品目です。本県は高品質カーネーション産地として知られ、関東・関西・中国地方を中心に北は仙台まで広範囲に出荷されています。しかし近年、安い輸入カーネーションが急増



榎山主任研究員

し、品質の良い国産カーネーションの単価が下落、県内の栽培農家の経営が圧迫されています。

そこで、農林技術開発センターでは、農家の経営安定を図るため、「長崎カーネーション」のブランド化を推進し

## カーネーション新品種「ミルクセーキ」

表1 「ミルクセーキ」と比較品種の切り花品質・1株当たりの採花本数

系統名	採花開始日	採花時期	切り花長 (cm)	輪数 (輪)	茎強度 ※	1株当たりの累積採花本数(本)
ミルクセーキ	10/31	11月~12月	77.8	4.2	1.1	1.2
		1月~3月	84.4	5.0	1.0	4.8
		4月~5月	74.1	4.8	1.0	9.2
オレンジレンジ (対照)	10/15	11月~12月	54.8	5.6	2.3	2.0
		1月~3月	76.9	5.5	1.0	5.4
		4月~5月	72.0	4.5	1.0	8.4

※茎強度：茎の強度を1~9に分類した数字で、1に近いほど茎が堅くなる

表2 「ミルクセーキ」比較品種の花の形質

系統・品種名	花径 (cm)	花梗 (cm)	花弁数 (枚)	2次花柄数
ミルクセーキ	5.3	16.6	39.6	3.6
オレンジレンジ (対照)	3.9	12.4	31.3	3.5

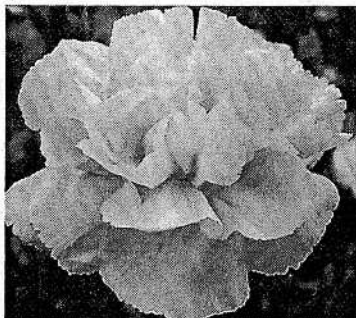
## 採花・花弁数多く

ようと豊産性で形質の良い新品種の開発に取り組んでいます。

今回開発した新品種「ミルクセーキ」はスプレイトタイプ

で、花色は浅橙黄色（オレンジ色と黄色の間）です。この花色は近年の流行色です。「セーキ」は、花が大きく花弁数

採花本数が多く、茎は堅く、切り花長が長い品種です。表1。「孫芽」と称される咲かない花芽が少なく、その分出荷調製の手間がかかりませんが好まれますが、「ミルクセーキ」は、花が大きく花弁数



新品種「ミルクセーキ」

が多いのでボリューム感があります。表2。花枝が長く、アレンジメントにも最適です。

「ミルクセーキ」は、「マシユマロ」「こんべいとう」に続く長崎オリジナルカーネーション品種の3番目の新品種です。品種名は、県民の皆さんに応募していただいた中から選ばれました。今年から県内農家で栽培が始まっています。

当センターでは引き続き、花色、生産性の優れた多くの新品種を育成していきます。

(長崎県農林技術開発センター 農産園芸研究部門 花き・生物工学研究室主任研究員・榎山妙子)